

旭労災病院ニュース

病院情報誌

第 159 号

令和元年 12 月 1 日発行

発行所: 旭労災病院
〒488-8585
尾張旭市平子町北61番地
TEL 0561-54-3131
FAX 0561-52-2426

排尿ケアチームを立ち上げました

泌尿器科副部長 飛梅 基



【排尿ケアチームとは?】

当院では、尿道カテーテルを一日でも早く抜去し、排尿自立へ向かっていただくことを目的に排尿自立指導を 2019 年 11 月より、「排尿ケアチーム」を立ち上げ活動を開始します。

ここで言う排尿自立とは、自力で排尿管理が完結できることを指しますが、排尿方法は問いません。この指導により、人としての尊厳が守られるばかりでなく、日常生活動作の維持・増進をもたらし、ひいては早期退院、寝たきり患者減少にも繋がります。

指導を行なう『排尿ケアチーム』は、医師、看護師、理学療法士による多職種で構成されています。病棟看護師と協力して、排尿自立の可能性や下部尿路機能を評価し、排尿誘導などの保存療法、リハビリテーション、薬物療法等を組み合わせ下部尿路機能回復のための包括的なケアを実施します。

【排尿ケアチームの主な活動】

(1) 排尿自立指導の対象は?

- ・尿道カテーテル抜去後に、尿閉、排尿困難や尿失禁といった下部尿路機能障害の症状がある患者
- ・尿道カテーテル留置中で、尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害が予測される患者

(2) 包括的排尿ケアを立案、実施

- ・看護師等による排尿誘導や生活指導
- ・理学療法士等による排尿に関する動作訓練
- ・医師による薬物療法等

患者さんにとって排尿は、生活する上で切っても切れない問題です。日本では排尿トラブルについて、なかなか恥ずかしくて相談ができないという風潮があります。しかし、誰もが人生の最期までトイレで排泄したいという思いを持っています。その思いを尊重し、排尿自立ができるように排尿ケアチームは活動しています。なかなか人には相談しにくい排尿トラブルなど相談窓口になりますので、お気軽にご相談して頂けたら幸いです。

最終的には、患者さんの退院後も、同じような排尿自立指導が受けられるよう、地域全体での取組みをサポートしていきたいと考えていますので、先生方のご協力が頂けたら幸いです。

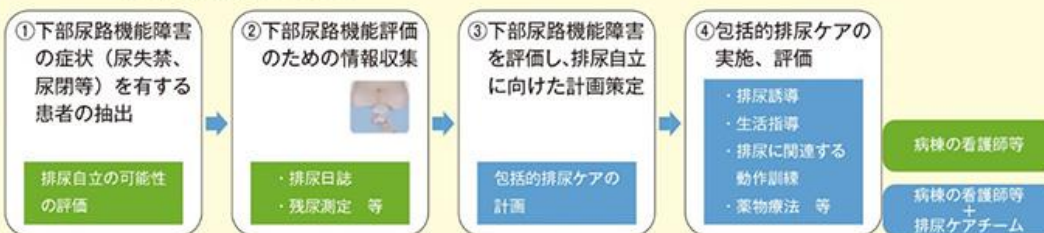
下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価

- ▶ 下部尿路機能障害を有する患者に対して、病棟でのケアや多職種チームの介入による下部尿路機能の回復のための包括的排尿ケアについて評価する。

(新) 排尿自立指導料 200点 (週1回)

【主な算定要件】

- ①対象患者：尿道カテーテル抜去後に、尿失禁、尿閉等の下部尿路機能障害の症状を有する患者
尿道カテーテル留置中の患者であって、尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害を生ずると見込まれる者
- ②算定回数：週1回、計6回を限度として算定する。排尿ケアチーム及び病棟の看護師等のいずれか一方しか関与しなかった週は算定できない。



【施設基準】

- ①以下から構成される排尿ケアチームが設置されていること。
 - ア 下部尿路機能障害を有する患者の診療について経験を有する医師
 - イ 下部尿路機能障害を有する患者の看護に従事した経験を3年以上有し、所定の研修（16時間以上）を修了した専任の常勤看護師
 - ウ 下部尿路機能障害を有する患者のリハビリテーション等の経験を有する専任の常勤理学療法士
- ②排尿ケアチームは、対象患者抽出のためのスクリーニング及び下部尿路機能評価のための情報収集等の排尿ケアに関するマニュアルを作成し、保険医療期間内に配布するとともに、院内研修を実施すること。

厚生労働省資料抜粋、「平成28年度診療報酬改定について 第2. 改定の概要 平成28年度診療報酬改定説明（医科）その6」
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000115983.pdf>

医療安全の第1歩は患者確認から

医療安全管理者 村上 桂子

1999年、横浜市立大学病院の患者取り違い事例から20年が経過し、現在では医療安全のためのさまざまな取り組みが行われています。当院でも患者誤認防止のために、患者をフルネームで確認する、患者に氏名を名乗ってもらう、入院患者さんにはリストバンドを装着していただき、バーコード認証を行うなど対策を行っています。しかし、大事故は発生していないものの、患者間違い事例は少なからず発生しているのが現状です。

なぜ、患者間違いは発生するのか、それには人間の思い込みなどの特性も大きく関係しています。そこで当院ではどの名字が多いのか疑問に思いIDを持っている患者さんの名字を調べてみました。その結果、「加藤」さんが一番多い名字でした。

当院IDをお持ちの方 多い名字

| | 名字 | 人数 |
|-----|----|-------|
| 1位 | 加藤 | 6972人 |
| 2位 | 伊藤 | 4512人 |
| 3位 | 鈴木 | 3619人 |
| 4位 | 水野 | 3423人 |
| 5位 | 山田 | 2834人 |
| 6位 | 田中 | 2337人 |
| 7位 | 佐藤 | 2110人 |
| 8位 | 山本 | 1885人 |
| 9位 | 林 | 1657人 |
| 10位 | 中村 | 1618人 |

診察前や処置前など、患者さんにフルネームで名乗っていただく、これが当院のルールです。フルネームでお呼びしたとき、当院IDを持っている患者さんを調べた結果、「カトウケイコ」さんが64人いることがわかりました。次に「カトウヨシコ」さんが多く62人でした。

1日外来患者数約700人、そのうちフルネームでお呼びすると同じ名前の方が同時刻院内にいらっしゃる可能性も有り得ます。

また似たお名前も多いです。「〇トウケイコ」と患者さんに聞こえた場合、本当は「カトウケイコ」さんをお呼びしたつもりが、「イトウケイコ」さんが診察室に入ってくることも考えられます。ヒヤリとしませんか？今年5月、当院は新病院へ移転し外来診療は番号呼び出しに変更しました。しかし、患者さんの番号を表示しても診察室に患者さんがお越しにならないこともあり、看護師が患者さんの名前を呼び、探している姿を見かけます。近隣のクリニックや診療所でも、患者さんの名前をお呼びしたが、違う患者さんが診察室に入り診察を受けた、違う患者さんの採血をしてしまったという事例もあるとお聞きしています。

患者間違いは大きな事故につながる可能性が高いです。当院周辺には「加藤」さん、「伊藤」さんが多いようです。みなさんの施設でもご注意ください。

年末年始 外来休診のお知らせ

令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)

地域医療連携室は下記日程につき通常業務をおこなっております

令和元年12月28日(土) 9:00～12:00

令和2年1月4日(土) 9:00～12:00

なお、救急外来は平常どおり対応を行っておりますので、
内科・外科系のホットラインをご利用ください。

何かとご不便をおかけしますが、よろしくご配慮の程お願い申し上げます。